



BAY BRIDGE YOKOHAMA Vol.47

専門学校 日産横浜自動車大学校

〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町910 TEL. 045-371-2990

●編集責任者 斎藤智之 平成28年2月1日発行



NISMO フェスティバル at FUJI SPEEDWAY

11月29日はnismoフェスティバルのイベント開催日でした。このイベントは日産ファン、ニスモファンに楽しんで頂けるイベントとして毎年この時期に富士スピードウェイで行っています。

日産校(横浜校)も3年前からブース出展という形で参加し、学校のPRと同時にS耐活動の紹介、授業で使用している教材を使って、ファンやお客様を楽しませています。

目玉は近藤監督とドライバーのトークショーです。監督のファンだけでなく、多くのお客様に来ていただきまして大盛況で終える事が出来ました。

学生達の活躍についてお話をしますと、このイベント出展では教職員はサポート役であり、活動の主体は当校の学生達です。参加した学生は1年生～3年生の10名で、日産校PRの場として最大限に活動していました。ブース内の展示内容、レイアウトなどを考え動きます。そして、どのようにしたらお客様が入りやすいか、見やすいかを試行錯誤しながら準備をし、当日を迎めました。



彼らは、今年度のS耐活動に参加し、日頃の授業以上にお客さま対応の心得を学び、また一部学生はオープンキャンパスのインストラクターとしても活躍し、コミュニケーションよくお客様と会話をしていました。来ていただいたお客様もみな関心を持って、また楽しんでいただけたものと思います。

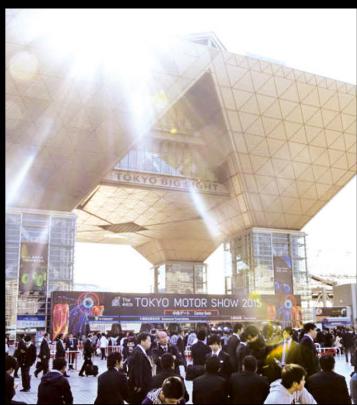
このイベントにお越しいただきましたファンの皆さん、お客様、大変ありがとうございました。また学生スタッフの皆さんもありがとうございました。



The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015 [見学] 東京モーターショー

11月6日に第44回 東京モーターショーの見学(東京ビッグサイト)に一級自動車工学科3年生と1年生、自動車整備科1年生が行ってまいりました。学生達は現地集合のため事前に行き方を調べるところから始まり、集合も一つのイベントのように楽しんでトラブルなく集合していました。

今回、初めてモーターショーを見学するという学生も意外と多く、入場を開始するとそれぞれお目当てのブースに移動し日産のブースはもちろん、各自動車メーカーの新技術やコンセプトカーに興味津々の様子で見学し話を聞いていたりする姿が印象的な1日となりました。



4年生 国内研修旅行

10月29日～30日にかけて一級自動車工学科四年生は、富士河口湖方面へ1泊2日の研修旅行に行って参りました。

1日目はラフティングというゴムボートでの川下り体験でしたが、寒い時期でもあり、最初は不安があったものの、クラスの仲間達と一緒にボートを漕いでいるうちにクラスメートとの信頼関係も築くことが出来ました。

2日目の午前中は洞窟探検を通じて富士の大自然に触れ、午後のカート体験では普段とは違った目付きで運転する仲間たちもあり、ある意味、カート体験よりも楽しかったように思いました。

これからはTS2級、国家1級合格に向けて気持ちを切り替えて、全員合格という目標に向けて頑張って行きたいと思います。

(一級自動車工学科 塩谷 駿介)



2年生 整備科 海外研修

1日目



2年生整備科の一大イベントである海外研修に10月4日～9日まで行ってきました。アメリカに着いた嬉しさと時差ボケの辛さとの戦いの中での市内観光。



ハードロック
カフェで
ディナー!



3日目



3日目は自由行動。各自、事前予約のオプションや、フリープランを楽しみました。中には、フリープランが想定外の行動になった者もいたようですが、とにかく皆無事に戻り、一安心でした。

4日目



4日目は、朝8時に出発、目標はジョシュアツリー国立公園。自然の雄大さを目の前で感じる事が出来ました。ロープウェイで楽しい(怖い)思いもしました。また途中のアウトレットでショッピング。爆買している者もチラホラと。最後はクイーンメリーで船上ディナー。ツアー会社の料金計らいで、期間中に誕生日を迎える学生にサプライズケーキが登場。

2日目



2日目はサンディエゴ自動車博物館で名車を見学。圧倒されたのは、USSミッドウェイ博物館で航空母艦の中に入ったこと。

ディーラーストリートでは、日産、インフィニティも含め、アメリカのディーラーを外から見学。

5日目



5日目、いよいよ帰国日の日。カリフォルニアサイエンスセンターに寄り、生スペースシャトルを見学。空港へ向かい飛行機に乗り、日付変更線を越え約12時間後、日本に無事到着。

アメリカでは、日産車の比率が非常に高い事に驚きました。更に驚いたのは、「食事」。量が多すぎで、プロッコリーが森の様にお皿を飾っていました。もちろんお肉も大量でしたが、お味の方は…。多民族の為、凝った味付けが出来ないそうです(ガイド談)。

今回の研修旅行を経験する事で、学生達の考え方も少しは変わったと思います。
楽しかった事、驚いた事等、これらの経験が必ず将来の自分に役立ってくれるはずです。

新設

自転車部 紹介

私たち自転車部は、自転車の楽しみを多くの人と共有したいという思いで活動しています。主にレース活動を行っていて、ママチャリ座間グランプリ、大磯クリテリウムに出場し、1月には、富士スピードウェイにて開催された「ママチャリ世界耐久選手権」に出場しました。7時間耐久レースに今回は6人の部員で参加し、1,400チーム中、なんと214位!今後も各種イベントに参加しますので、ご声援のほどよろしくお願いします。



クイズ
私はだあれ!
あのヒトかな?
このヒトかな?

その1



エコラン部

我が日産横浜自動車大学校エコラン部は、9月19日～20日ツインリンクもてぎにて行われた「HONDAエコマイルレッジチャレンジ2015全国大会」に出場いたしました。

大会前は2台の車両を夜遅くまで精鋭部員が一丸となってメンテナンスを行い、万全の態勢で挑みました。

結果は残念ながら1台がパンクでリタイヤとなってしまいましたが、もう一台は近年では最高記録の19位(出走85台)594.741km/で完走しました。

来年は2台完走はもちろん1000km/を目指して活動していきます。





2年生 整備科

国内研修

10月5日～6日、自動車整備科2年生9名が国内研修を行いました。

1日目は「東京スカイツリー」と「ANA工場見学」に訪問しました。「スカイツリーはあまりに高すぎて地上との距離感が湧かない」「ボーイング787のエンジンはロールスロイス製で自動車と一緒になんだ」など、学生達は様々な関心や感動をしていました。

2日目は「山梨リニア見学センター」と「ブリヂストンタイヤ見学」に訪問しました。それにもしても、リニアモーターカーの想像以上の速さに学生一同、驚いていました。

食事は、寿司食べ放題や山梨名物のほうとうを食べ、堪能した様子でした。

1泊2日と短いながらも充実した国内研修が終わると、日産T/S 3級資格試験、国家二級自動車整備士試験への特訓がいよいよ本格的に始まります。全員が合格を目指して頑張っていきます!!



2年生 工学科

赤城合宿研修

2015年10月5日～7日の2泊3日で、一級自動車工学科2年生58名が「合宿研修」を「国立赤城青少年交流の家」で実施しました。初日は午後から知識・人間力について「3年生に繋げるために何をしなくてはいけないか」のテーマで夕食を挟み、夜までグループ討議を行いました。翌日は野外炊飯でカレーを作り、親睦を深めました。最終日は登山を行い、仲間と最後まで諦めずにやり遂げることの大切さを学んだようです。短い期間でしたが、今後の目標を明確にすことができ、充実した研修となりました。



GRAN-TURISMO

グランツーリスモ



11月上旬、当校のエントランスにグランツーリスモ ドライビングシミュレーターが設置されました。

リアル シミュレーション ゲームのグランツーリスモは、多くの車好きにはよく知られているゲームだと思います。もっと車を今以上に好きになってほしい。ゲームを通して車の仕組み、機構を学んでほしい。シミュレータとはいって、リアルな環境で体感できるように可能な限り良い機材をそろえました。なお、一部機材においてポリフォリーデジタル様からのご協力もいただきました。ありがとうございます。

早速、この機材を使用した授業を行いました。1年生の工学授業で、「平均速度」「加速度」をより理解するため、ある区間距離を走行し、その時のタイムと速度を計りました。初めて触れる学生も楽しそうに操作している姿が印象的でした。これにより苦手としている計算問題が、少しでも理解促進につながればと思っています。



学生メッセージ



一级自動車工学 4年 藤波 智人

学校生活で印象に残っている思い出と国家1級合格への意気込み

私の4年間での思い出は皆と共に過ごしてきた日常そのものです。

最近は学生生活のラストスパートのためもあり試験勉強で辛い毎日が続きます。

しかし来年からは社会人ということもあるので今までのように同年代、大人數で切磋琢磨し合えるのはこれが最後になると思います。

ですので、これからそのためだけではなく、最後の思い出作りも含めて共に過ごしてきた仲間たちとこの壁を乗り越えて国家試験に合格し、最高のフィナーレを迎えるといふ思います！



一级自動車工学科 3年F1組 新井 大樹

就職内定勝ち取りに向けた意気込み

私は内定を勝ち取る為に社会人としての常識を身に付けています。

特に重視すべき点は、「人の話を聞く」『周りの人に流されない』の2点です。『人の話を聞く』、これは社会人にとって当たり前です。

しかし社会に出ていない私は、このことにはまだまだ未熟者です。

そして友達は良きライバルでもあります。その友達に勝つ為に私は人に流されず、自分の意思で行動することを掛けます。

私は、この2点を身につけ、社会人としての一歩を踏み出しています。



一级自動車工学科 2年F1組 小林 裕

学校生活で楽しいこと、大変なことと今後の意気込み

学校生活で楽しいことは、自動車整備の学校であるため、周りの友人の多くがクルマに興味があり、よく話を盛り上がります。また、いろいろな日産車があるので、種類による構造の違いなどを見て触れて学べることです。

大変なことは、比較的短いパンで実技試験があり、きっちり練習して合格する必要があることと、整備士としてその知識、技術を継続して持っていくなければならないことです。

今後の意気込みとしては、3月に国家試験があるので、それに備えしっかり勉強していきたいです。



自動車整備科 2年2組 島野嵩史

学校生活で印象に残っている思い出と国家1級合格への意気込み

学校生活で、一番印象に残っているのは、今年の3月に行った茂木のS耐です。

S耐では、コミュニケーション能力が重要視され、今まで自分的行为をする機会があまりなかったので、自分がどうしたいのかを積極的に発言し、行動しました。PIT内の作業で気になることを率先して聞きに行き、普段学校では知れないことを知り、良い経験をすることができました。

国家2級の試験をあと3か月に控え、お客様の目線でわかりやすく説明できる整備士になれるよう、資格取得のための暗記ではなく、仕事につかえる知識になるよう取り組んでいます。



一级自動車工学科 1年F2組 山中 優大

学校生活で楽しいこと、大変なことと今後の意気込み

私が学校生活で楽しいことは実習です。実習では、学びやすい教材が揃っている上に先生方の説明がとてもわかりやすいので楽しいです。

しかし、楽しいこととは逆に、試験は難しいですが、クラスの仲間と勉強したり、協力して頑張っています。

今大変なことは、通学です。実家から通学しているのですが、片道2時間半かかるってしまうので、その時間を勉強などに有効活用しています。



自動車整備科 1年1組 佐藤 裕己

就職内定勝ち取りに向けた意気込み

私は、この学校に入学してから様々な事にチャレンジしてきました。スーパー耐久、オープンキャンパスのインストラクター、スリーボンドの商品開発などを通じて学んだことは、広い知識とコミュニケーション力の大しさです。

これは就職活動にも就職後もとても重要な事だと思います。

なのでこまめにニュースをチェックして社会の情報をより多く取り入れ、社会人としての意識を持ち、万全の態勢で面接や試験に望んでいきたいと思います。

そして面接では明るく前向きに良い印象を頂けるように頑張ります。

1・3年生「就職活動キックオフ」開催

10月7日に一級自動車工学科3年生46名、自動車整備科1年生120名の「就職活動キックオフ式」を開催しました。

第1部では、田中校長の「就職心得」。そして中央日産株式会社高橋常務執行役員から自動車業界の現状説明と販売会社が欲しい人財や当校学生への期待を込めた講話。斎藤学務部長の就職活動方針説明を行い、学生ひとり一人が早期に内定を勝ち取る為には、希望先の研究や入社したらどのような貢献が出来るのか自分から積極的に売り込む事の重要性を確認しました。

第2部では、工学科と整備科に分かれ、首都圏の日産販売会社に就職をした当校卒業生を招いて懇談会を実施しました。先輩の方々が内定を勝ち取るために面接試験や筆記試験に取り組んだ内容や苦労話等の意見交換を実施しました。また、勝ち取った就職先での新人としての立ち位置や仕事内容などについても貴重な話を伺いました。学生達はこの貴重な経験談を基に、自分の就職希望先の選定や就職試験の対応に活かします。



企業ガイダンス

11月11日～12日に各企業の方に参加いただき、校内企業ガイダンスを開催しました。

11月11日は東京・神奈川の販売会社、12日はそれ以外の販売会社が行いました。

また北海道や長野県、愛知県と遠方からの企業も参加し、全24社の総勢45人の採用担当者が説明を行いました。

それぞれ企業の特徴や取組み、また地域特性、求める人財など興味を引く内容だったため多くの学生からの質問も出て、就職活動に現実味を持った2日間となりました。

12月3日には日産関連サービス・整備系企業5社(UDトラックスジャパン・アルティア・ユニキャリア日産部販・東京海上日動調査サービス)のガイダンスを希望する学生を対象に実施しました。

一日も早く全員の就職が決まるよう、学生と教員の二人三脚で頑張ります。



クイズ
私はだあれよ?
その2
さあ、誰でしょう。
わかりますか?

